



世界大会「青年の運動交流」(8/2オンライン)

軍事費削って社会保障へ

地域代表者会議の開催

地域組織の重要性と課題を鮮明に



地域代表者会議(8/1ラパスホール)

東京地評は、地域代表者会議を8月1日、ラパスホールで開催しました。東京では「コロナ感染者」が連日過去最高となるなか、コロナを理由とした不当解雇事件も発生、地域からコロナ対策をはじめ労働者の権利を守り、共同の諸運動・自治体要請をすすめることが切実に求められています。職場と地域の連携強化により新たな運動も生まれ、地域から社会の変革が生みだされています。

地域代表者会議は、事務局長報告として、①情勢と「19大会方針・組織拡大方針/中期方針の補強」、②「2020地域労働運動の中期構想」の補強、③地域組織の運動と課題を基調報告として提案、コロナ禍の地域組織と地域運動の重要性を強調しました。

質疑・討論では、参加された全ての地域組織から報告をいただきました。質疑では、中賃の目安が11年ぶりに現行水準維持にとどまったことに東京地評として声明等を出すべき、地域の拡大運動で未加入の地域産別組織へ働きかける共同の方針を提起してほしい、専従者の維持と後継者育成を人材の紹介を含めて検討してほしい、コロナ禍で活動水準を落とさざるをえず財政も厳しいなどの意見が出されました。

地域運動は、地方自治体でのコロナ要請、平和・憲法を守る、消費税5%減税、米軍基地や羽田飛行ルート問題など多岐にわたり、都知事選挙を要求運動としてたたかうなかで新たな共同・共同が生まれた経験、地方議会・自治体への行動と成果も報告されました。地域組織の重要性と課題、展望について、参加した19地域、1プロック、37人で確認しました。



広島集会を視聴する東京のみなさん(8/6ラパスホール)

20年原水禁世界大会 オンラインで開催

8月2日の国際会議から広島、長崎大会と原水爆禁止世界大会がオンラインで開催され、国内外の多くの人が参加しました。世界には1万4000発の核弾頭があり、極めて危険な状況にあります。しかし、日本と世界の核廃絶を求める運動で2017年7月7日、核兵器禁止条約を採択させました。禁止条約批准国は40カ国、あと10カ国が批准で90日後には条約は発効します。国連も「戦後75年の歴史において、膨大な破壊力を持ち兵器により安全保障を確保しようとする愚かさがかげほど明らかであったこと

とはありません」と指摘しています。核保有国の条約参加があれば核兵器のない世界が実現できる状況下で、今年の第30回定期大会がオンラインで開かれました。コロナ禍の中、労働者の安全と雇用・権利を守ることを軸に、組織拡大・最賃闘争・改憲阻止・社会保障の充実等を求める取り組みを提起した「運動方針」を賛成多数で確認。決算・予算、役員体制等も賛成多数で承認されました。

討論では、「中小企業支援を経済対策の中心にし、最賃の引き上げを『全労連がかかる要求が光っている。呼びかけました。」

2020年都内平和行進

八王子出発式、 小雨の中30人が参加



平和行進八王子出発式(7/24)

八王子ではコロナ禍の下でも中止しないで、行進は商店街の三崎町公園に決めても宣伝カーで繋ぎ、署名を呼びかけることに7月24日の出発式には小雨の中30人が参加。会長挨拶で、「日本政府は核兵器禁止条約に参加し、批准せよの声をあげよ」と訴えました。続いて要請で実現した、市長メッセージとペナントが紹介されました。他団体からは、「日常的に『ヒバクシャ国際署名』を集めている(新婦人)」、「市議会で『核兵器禁止条約』署名・批准を求める意見書」を採択、政府に届けられた(市議)と発言がありました。原水協提出の意見書がきっかけで、議会傍聴時の感動を思い出しました。移動しての駅頭署名では機を用意して被爆者パネル、手製の横幕、ハンドマイクなどを活用。短時間の署名30筆と通行人からの「『平和の波』行動で会おう」との声かけに驚かされました。

初の女性議長に小畑氏

第30回全労連定期大会開催される

7月29日〜30日、全労連第30回定期大会がオンラインで開かれました。役員には、議長に小畑雅子氏(全教)、事務局局長に黒澤幸一氏(日本医労連)をはじめ副議長、事務局次長、幹事、会計監査52人が選出されました。労働組合のナショナルセンターで、女性がトップに就くのは初めて。小畑氏は、「ジェンダー平等をより広げ、命と暮らしを守られ、誰もが8時間働けば普通に暮らせる社会をつくっていく」と呼びかけました。

雨の中30人が参加。会長挨拶で、「日本政府は核兵器禁止条約に参加し、批准せよの声をあげよ」と訴えました。続いて要請で実現した、市長メッセージとペナントが紹介されました。他団体からは、「日常的に『ヒバクシャ国際署名』を集めている(新婦人)」、「市議会で『核兵器禁止条約』署名・批准を求める意見書」を採択、政府に届けられた(市議)と発言がありました。原水協提出の意見書がきっかけで、議会傍聴時の感動を思い出しました。移動しての駅頭署名では機を用意して被爆者パネル、手製の横幕、ハンドマイクなどを活用。短時間の署名30筆と通行人からの「『平和の波』行動で会おう」との声かけに驚かされました。

2020年 9月号

学習の友

特集 真の社会保障改革へのアプローチ

新型コロナウイルス感染症と社会保障制度の再生 岩橋祐治
 【レポート・コロナ対策の現場から】(保健所)住民の協力で早期発見に奔走 山本民子 / (病院)新型コロナとむき合って 中小路貴子
 【分野別改革の方向性】医療・介護のちと生活まもる 五十嵐建一
 【年金】コロナ災害のもとで年金はどうなるか 吉田 務
 【生活保護】生活に困ったときこそ「生活保護の利用」を 西野 武
 【保育】社会保障・社会福祉としての公的保育制度の再構築を 小山道雄
 【カラ】居場所を奪われた難民を救うために ジャーナリスト 安田菜津紀

労働者教育協会 編 定価 510円(消費税10%含む)
 お申し込みは 学習の友社 TEL03-5842-5641 tomo@gakusyu.gr.jp

8・30東京ジャックプレ企画
 11・8東京ジャックのお知らせ

★8・30東京ジャックプレ企画
 日時:8月30日(日)13時30分~
 場所:学習会:ラパスホール

★11・8東京ジャック(青年大宣伝行動)
 日時:11月8日(日)14時~
 場所:新宿駅東口アルタ前
 Twitter (@tokyojack1108)

★主催:東京ジャック実行委員会
 ★青年協 Twitter:「@tokyojack1108」

JMITU東京地本第63回大会
 7月21日、滝野川西区民センターで開催。委員長の川口英晴さん、書記長の野中祐一さん、三多摩労連第30回大会7月25日、北多摩西教育会館で開催。議長に芳賀次郎さん(立川労連議長)、事務局局長に杉本正巳さん(JMITU東京西部地協)。府中労連第30回大会8月1日、府中市市民活動センター「プラッツ」で開催。議長に甲田直己

さん(東京土建)、書記長に星合健次さん(府中地域合同労組)。東京ジャックプレ企画開催のお知らせ
 東京地評青年協を中心につくる東京ジャック実行委員会は、8月に学習会、11月に宣伝行動を実施します。コロナ禍により鮮明になった雇用や賃金問題に焦点をあて、労働組合に入って変えていくと呼びかけます。行動成功のため、2つの行動へのご協力をお願いします。